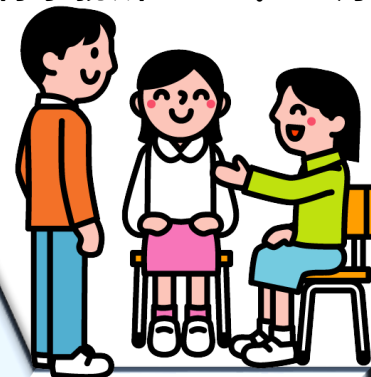


学校経営のビジョンと戦略を支援する参考図書の紹介（その5）

## 「**まんがで知る教師の学び2**」

～アクティブ・ラーニングとは何か～

熊本大学教職大学院准教授 前田康裕 著 さくら社



子どもたちに求められる資質・能力の三本柱として「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、そして「学びに向かう力・人間性」があります。変化の激しい社会を生き抜くためには、生涯学び続けて自らを更新させていく力と、優しさや思いやりをもって多くの人々と協働して問題を解決していく力が求められていると言えます。

一方、アクティブ・ラーニングという言葉が登場して以来、その言葉が付いた教育書が溢れました。しかし、アクティブ・ラーニングを一つの指導方法としてだけ捉えてしまうと、本来の目的から外れてしまうのではないかという危惧があります。重要なことは、子どもたちをアクティブ・ラーナーに育てることであり、そのためには、教師自らがアクティブ・ラーナーとなり、子どもたちの実態や学習の内容に応じて、様々な方法を吸収し組み合わせながら、常に授業の改善を行うことではないでしょうか。

「主体的・対話的で深い学び」という言葉が現在は主に使われていますが、本書では、あえてアクティブ・ラーニングという言葉でその本質を考えることで、教師の在り方を考えていこうとしています。本書では、個性豊かな教師たちが登場します。指導方法にこだわる教師、つい感情的になってしまう教師、人間関係で傷ついてしまった教師など。彼らがどのように問題を乗り越え解決していくのか。本書は、自分自身の人間性や生き方を問い直すきっかけになると思います。

（本書「はじめに」より）

# 本書の主な内容

本書紹介にあたっては、出版社の許可をいただいています。

- 1 持続可能な社会づくり〔コラボレーション（協働）〕
- 2 新しい時代に必要な資質・能力〔コンピテンシー（その人全体の能力）〕
- 3 主体的な学び〔コーチング（対話による自発的な行動の促進）〕
- 4 対話的な学び〔ストレッチ、リフレクション、エンジョイメント〕
- 5 深い学び〔EQリーダーシップ（感情を理解する力）〕
- 6 リーダーシップ〔アサーション（自分も相手も大切に自己表現）〕
- 7 学習評価〔ストーリーテリング（共感・感情移入からの理解）〕
- 8 カリキュラム・マネジメント〔マネジメント（よりよい成果を上げるために）〕



本書のテーマは、まさに「協働」です。教師は、仲間や先輩教師から多くのことを学びます。職場や研究会で多くの仲間と協働して仕事を行うことで、教材研究の方法や児童生徒への接し方、仕事術などを学んでいきます。勿論、専門職である教師集団ですから、意見が一つにまとまらず議論が白熱することもあります。しかし、子どもたちのことを思い、よりよい方法を考えていくという点では、常に共通する熱い願いがあります。尊敬すべき先輩教師は間違いなく仲間を大切に思い、相手に尽くすタイプのリーダーではなかったでしょうか。そんな仲間や先輩の影響を受けて、教師の人間性は培われていきます。本書はまんがでお話が展開していきます。本当に読みやすい内容です。

ぜひ、先生方にも読んでいただきたい1冊です。

## 《シリーズ本紹介》

### 『まんがで知る 教師の学び』

～これからの学校教育を担うために～  
「教師は一生かかって教師になる」

前田康裕著 さくら社

### 『まんがで知る 教師の学び3』

～学校と社会の幸福論～

「カリキュラム・マネジメントや  
働き方改革」

前田康裕著 さくら社

校内OJTをさらに機能させたい校長先生にお薦めの図書です。